

平成 30 年度第 1 回市川市介護保険地域運営委員会（議事録）

1. 開催日時：平成 30 年 5 月 30 日（水）午後 2 時 00 分～3 時 00 分

2. 開催場所：市川市役所仮本庁舎 4 階 第 4 委員会室

3. 出席者

【委員】

委員長 伊藤委員

副委員長 高木委員

委員 淡路委員、新井委員、大野委員、佐藤委員、谷口委員、
森本委員、吉田委員、

(欠席者 1 名)

【事務局】

福祉政策課 若菜課長、介護福祉課 加藤課長ほか

4. 議事

- (1) 平成 29 年度高齢者サポートセンターの事業報告について
- (2) 平成 29 年度下半期高齢者サポートセンターの運営評価について
- (3) 高齢者サポートセンターの基本指針・運営指針について
- (4) 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について
- (5) 地域密着型サービスの公募状況等について
- (6) 市川市が定める基準条例の改正等について
- (7) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について【非公開】

《配布資料》

会議次第

資料 1 平成 29 年度地域包括支援センター事業報告
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

資料 2 - 1 運営評価の手順について

資料 2 - 2 平成 29 年度下半期高齢者サポートセンター運営評価結果一覧(行政評価)

資料 2 - 3 平成 29 年度高齢者サポートセンター運営評価(下半期)

資料 3 - 1 市川市地域包括支援センター(高齢者サポートセンター)
基本指針・運営指針(案)

- 資料 3 - 2 市川市域包括支援センター（高齢者サポートセンター）
基本指針・運営指針（案） 修正表
- 資料 4 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について
- 資料 5 - 1 平成 30 年度に公募する地域密着型サービス事業の種類について
- 資料 5 - 2 施設等整備計画
- 資料 5 - 3 平成 30 年度開設分市川市指定地域密着型サービス事業者当公募要領
- 資料 6 市所管の介護保険サービスの基準に係る条例（計 4 件）
の一部改正・制定について
- 資料 7 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について

項 目	内 容
伊藤委員長	<p align="center">(1) 平成 29 年度高齢者サポートセンターの事業報告について</p> <p>それでは、議題（1）「平成 29 年度高齢者サポートセンターの事業報告について」です。 介護福祉課より、説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p align="center">(資料 1「平成 29 年度地域包括支援センター事業報告（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）」に基づき説明)</p>
伊藤委員長	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>資料 1（4）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の「日常的個別指導・相談」の相談件数に、ばらつきがあるが、分析しているようなら教えていただきたい。</p>
介護福祉課	<p>高齢者サポートセンターの担当地区にある居宅介護支援事業所数が相談件数に影響することもあると考えています。 また、センターによっては、独自に介護支援専門員向けの研修会や相談会を開催しているところもあります。ケースの相談をする機会があることにより、顔見知りになり、相談しやすい関係になることが相談数に影響すると思われます。 高齢者サポートセンターの主任介護支援専門員に、気軽に相談できることを知ってもらい、活用してもらえよう働きかけていきます。</p>
新井委員	<p>（2）総合相談支援事業の出張窓口回数について、実施している高齢者サポートセンターが数か所と限られているがどうなのか。</p>
介護福祉課	<p>地域から依頼があったところや高齢者の多い地区等の団地の集会所や地域ケアシステムの拠点で行っております。具体的には、高齢者サポートセンター真間では「よってこ」、高齢者サポートセンター大柏では「大町団地」、高齢者サポートセンター南行徳第二では「塩浜団地」で実施しております。</p>
新井委員	<p>（11）その他の介護予防教室について、開催数にばらつきがあるが、最低でも 1 回は行ってほしい。</p>

介護福祉課	高齢者が、要介護状態にならないための活動として大切な部分だと考えています。
佐藤委員	(5) 市事業との連携（社会保障の充実分）の「在宅医療・介護連携推進事業」における「退院支援相談件数」の現状及び問題点について教えてほしい。
介護福祉課	<p>高齢者は入院することも多く、急に退院が決まっても1人暮らしや高齢者世帯のみの世帯が大半で、在宅生活の支援が必要になるケースが多いです。また、医療機関からも退院時に高齢者サポートセンターに連絡・相談が入ることも増えており、高齢者サポートセンターの役割が期待されています。</p> <p>市川市では、在宅医療介護連携推進事業を平成24年度から実施しているため、病院のソーシャルワーカー等と連携をとれる体制となり、顔が見える関係になってきております。</p> <p>引き続き、各高齢者サポートセンターが、迅速かつ適切に対応できるようにしてまいります。</p>
佐藤委員	回復期リハビリテーション病院や療養型病院については連携がいいが、一般病院では、医療機関と在宅の介護関係者でズレが生じている。関係者で実際の課題を出して学べる機会があると良い。
伊藤委員長	(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の「日常的個別指導・相談」に「指導・助言」とあるが、指導とはどのようなことか。
介護福祉課	<p>「指導」という用語を使っておりますが、寄り添って一緒に考える支援を行っております。</p> <p>様々な活動から、高齢者サポートセンターの職員の知識やスキルを向上できるようにしていきたいと考えています。</p>
佐藤委員	資料についてだが、総計だけでも3～5年の数値を示し、年次推移が見られると良い。
介護福祉課	年次推移がわかるよう、今後、資料作成を改善してまいります。
大野委員	<p>(5) 市事業との連携の退院相談支援件数は、数だけでなくその内容についても評価をした方が良い。</p> <p>高齢者の退院調整を行う会議に出席するが、初めから高齢者サポートセンターとケアマネが会議に出席できれば、会議が1回で済むので、対</p>

<p>介護福祉課</p>	<p>応を考えて欲しい。</p> <p>評価の仕方については検討していきます。実績数の掲載以外に活動内容についても確認していきます。一人暮らしの高齢者や高齢世帯の方が退院して、在宅に戻る際に退院調整する件数は多くなっており、今後も増加すると考えられます。スムーズに在宅に戻れるよう、効率的な関わりができるよう、高齢者サポートセンターに働きかけをしていきます。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>病棟看護師、医療ソーシャルワーカーの在宅生活に対する考え方がそれぞれあり、個々の在宅生活について考えて支援することが、難しいのが現状である。</p> <p style="text-align: center;">(2) 平成 29 年度下半期高齢者サポートセンターの 運営評価について</p> <p>それでは議題(2)「平成 29 年度下半期高齢者サポートセンターの運営評価について」です。 介護福祉課より、説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(資料 2-1「運営評価の手順について」、資料 2-2「平成 29 年度下半期高齢者サポートセンター運営評価結果一覧(行政評価)」、 資料 2-3「平成 29 年度高齢者サポートセンター運営評価(下半期)」 に基づき説明)</p>
<p>大野委員</p>	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p> <p>高齢者の居住が多い団地への支援方法は、同じような課題が抽出されているが、高齢者サポートセンターによって、積極的に解決しようとするセンターとそうでないセンターがあるようですが、その点はいかがでしょう。</p>
<p>介護福祉課</p>	<p>高齢者サポートセンター間の情報交換ができる場として、管理者会議、圏域会議等があり、意見交換を行っております。</p> <p>担当地域が隣接したセンター同士での情報交換を積極的に行い、今後さらに活発な意見交換がなされ、地域の課題解決に向けての取り組みができるように支援していきます。</p>
<p>大野委員</p>	<p>運営評価に苦情がなかったと記載されているが、家族や民生委員から高齢者サポートセンターへの不満を聞いている。 高齢者サポートセンターの取り組みについてアンケートを実施した</p>

<p>介護福祉課</p>	<p>らどうか。</p> <p>苦情については、その後により良い対応を考え、問題点があれば解決策を見つける良い機会と考えています。</p> <p>今後、不満について把握するため、アンケート実施を検討していきます。</p>
<p>谷口委員</p>	<p>(3) 権利擁護事業について、成年後見制度の活用促進はもちろんだが、今後は「民事信託」についても取り組んでほしい。</p>
<p>介護福祉課</p>	<p>市民の選択肢を広げるためにも、今後も新しい情報を、教えていただけたらと思います。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(3) 高齢者サポートセンターの基本指針・運営指針について</p> <p>それでは議題(3)「高齢者サポートセンターの基本指針・運営指針について」です。</p> <p>介護福祉課より、説明をお願いします。</p> <p>(資料3-1「市川市域包括支援センター(高齢者サポートセンター)基本指針・運営指針(案)」、資料3-2「市川市域包括支援センター(高齢者サポートセンター)基本指針・運営指針(案) 修正表」に基づき説明)</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p> <p>(質問・指摘なし)</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(4) 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について</p> <p>続いて議題(4)「予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について」です。</p> <p>介護福祉課より、説明をお願いします。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(資料4「予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について」に基づき説明)</p> <p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p>

<p>伊藤委員長</p>	<p>(質問・指摘なし)</p> <p>(5) 地域密着型サービスの公募状況等について</p> <p>続いて議題(5)「地域密着型サービスの公募状況等について」です。福祉政策課より、説明をお願いします。</p> <p>(資料5-1「平成30年度に公募する地域密着型サービス事業の種類について」、資料5-2「施設等整備計画」、資料5-3「平成30年度開設分市川市指定地域密着型サービス事業者当公募要領」に基づき説明)</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>今回の公募で応募がなかった場合には、再公募を行うということでしょうか。</p> <p>また、資料5-2の施設等整備計画数には、6期の計画の積み残し分は含まれていますか。</p>
<p>福祉政策課</p>	<p>応募がなかった場合には、再公募を行う予定でございます。資料5-2の施設等整備計画数については、7期の計画期間である平成30年度から32年度の3年間の整備数であり、6期計画の積み残し分は含まれておりません。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(6) 市川市が定める基準条例の改正等について</p> <p>それでは議題(6)「市川市が定める基準条例の改正等について」です。福祉政策課より、説明をお願いします。</p> <p>(資料6「市所管の介護保険サービスの基準に係る条例(計4件)」に基づき説明)</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p>
<p>大野委員</p>	<p>居宅介護支援の基準条例について、「暴力団排除の独自基準を加える」</p>

<p>福祉政策課</p>	<p>とありますが、それは私たち事業者側の話ですか。</p> <p>その通りです。事業者の役員等が暴力団関係者でないかどうか、ということ。指定申請等の届出の際に「誓約書」という書類で審査します。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(7) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について</p> <p>それでは議題(7)「地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について」です。</p> <p>福祉政策課より、説明をお願いします。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>(非公開のため省略)</p> <p>これで本日の議題は全て終了いたしました。</p> <p>それでは、平成30年度第1回市川市介護保険地域運営委員会を終了いたします。</p>
<p>終了</p>	<p>(事務局より今後の予定について説明)</p>

市川市介護保険地域運営委員会
委員長 伊藤 勝仁